

- ① 新刊書の事前情報です。配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願い致します。
 希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
 ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきますのでご了承下さい。
 ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
 ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。併せてご利用下さい。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2014年2月28日配本 定価2100円(本体2000円+税) ジャン＝フランソワ・リオタール 著／松葉 祥一 訳 なぜ哲学するのか？ ★★ フランス現代思想でも特に、哲学、政治、経済、美学など多方面にわたる理論的・実践的活動で知られるリオタールが、大学教養課程の学生を対象に行なった4回の講義を取録。〈哲学とは何か〉という問いに対して、〈哲学する〉という実践から真摯に応答し、〈現代思想〉の最もラディカルな真髄に迫る。これから哲学を学ぶ人はもちろん、哲学を教える人にとっても、最良の哲学入門講義が、いま開講する。【哲学・思想】 ☞ 関連書：J=F. リオタール『言説、形象』『知識人の終焉』『非人間的なもの』など(いずれも小局刊)。	四六判上製・222頁 《叢書・ユニベルシタス1001》 ISBN978-4-588-01001-9 C1310
-------	----	--	---

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2014年3月6日配本 定価3150円(本体3000円+税) 陣内 秀信・高村 雅彦 編 水都学Ⅱ アジアの水辺 ★ アジアの水都は生きている。蘇州、バンコク、メコンデルタ、バラナシなど、生活や信仰にアジアの人々は水と密接な関係を保って暮らしている。ヨーロッパは水の空間に機能や実用性を求めるが、アジアで水はより象徴的な存在であり、水と寄り添って暮らすことの意義は大きい。アジアの共通点と多様性を、水都という切り口から考察する。【都市史・都市論】 ☞ 関連書：陣内・高村『水都学Ⅰ 水都ヴェネツィアの再考察』、高村『タイの水辺都市』など(いずれも小局刊)。	A5判並製・268頁 ISBN978-4-588-78022-6 C1320
-------	----	---	---

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2014年3月6日配本 定価6090円(本体5800円+税) 渡辺 昭一 編著 コロンボ・プラン 戦後アジア国際秩序の形成 脱植民地化とヘゲモニー移転が進行するなかで、いかにしてアジア諸国は政治的のみならず経済的自立を達成したのか。冷戦体制下の欧米諸国による経済援助が、アジアにおいて果たした役割とは何であったか。本書は、戦後復興計画であるコロンボ・プランに焦点をあて、それがアジア諸国の経済的自立や国際秩序の形成にどのような歴史的影響を及ぼしたかを追究する、国際共同研究の成果。【アジア国際政治経済史】 ☞ 関連書：A.H. アムスデン『帝国と経済発展』、小菅／ドブソン編著『戦争と和解の日英関係史』(いずれも小局刊)。	A5判上製・376頁 ISBN978-4-588-37711-2 C3020
-------	----	--	---

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2014年3月10日配本 定価5880円(本体5600円+税) テイモシー・ミッチェル 著／大塚 和夫・赤堀 雅幸 訳 エジプトを植民地化する 博覧会世界と規律訓練的権力 植民地化される側において、世界と人間に対する見方が塗り替えられる過程はどのようなものであったか。本書は、前近代のアラビア語史料、アラブの知識人が著わした文献、ヨーロッパ人による記述など膨大な一次・二次資料を渉猟し、さらに、それらとデリダ、ハイデッガー、フーコーらの思想を導きの糸として、植民地化および近代化の具体的なプロセスと思考を読み解く。【イスラーム史・植民地史】 ☞ 関連書：J. フェック『アラブ・イスラーム研究誌』、T.J. アサド『アラブに憑かれた男たち』(いずれも小局刊)。	A5判上製・352頁 ISBN978-4-588-37602-3 C1022
-------	----	---	---

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2014年3月12日配本 定価3360円(本体3200円+税) 山形 健介 著 タブノキ ★★ 日本の植生の中心をなす樹種であり、古くから人々の暮らしと深く結びついてきたタブ。折口信夫らが愛したこの謎の多い樹木をめぐって、国内各地はもとより、中国・台湾・韓国をも視野に収めて記録や伝承を掘り起こし、資材の利用から信仰に至るまで生活とのかかわりをさぐる。南方から「海上の道」をたどってきた列島文化を象徴する樹木の歴史。【文化史・植物】 ☞ 関連書：ものと人間の文化史『柳』『檜』『楠』『杉Ⅰ・Ⅱ』など(いずれも小局刊)。	四六判上製・314頁 《ものと人間の文化史165》 ISBN978-4-588-21651-0 C0320
-------	----	--	---

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2014年3月13日配本 定価3990円(本体3800円+税) 石井 一也 著 身の丈の経済論 ガンディー思想とその系譜 ★ 産業革命以降の大量生産・消費・廃棄、環境破壊という近代化の歴史と、それに続くグローバル化の流れは、人類を含む生態系をますます危機にさらしてきた。本書は、I. イリイチの「コンヴィヴィアリティ(自立共生)」という概念を手かりにして、人間と人間、人間と自然のより豊かな関係性を追求したガンディー思想をつぶさにたどることで、持続可能な社会への転換の途を探る。【インド史・開発論】 ☞ 関連書：A.O. ハーシュマン『連帯経済の可能性』、A.H. アムスデン『帝国と経済発展』(いずれも小局刊)。	四六判上製・352頁 《サピエンティア35》 ISBN978-4-588-60335-8 C1322
-------	----	--	--

ご担当者様 氏名： [] 担当ジャンル： [] TEL： [] E-mail： []

- * 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
 * 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。
 * 今後、新刊内容のデータ等をeメールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。